

江戸の時代の城下町を思い浮かべながら、姫路の町をお散歩。

# まちなかで活躍する熱い人たち

メインストリートの周辺には昔ながらの佇まいで静かで落ち着いた空間が広がっています。  
そんなまちなかに「まちを元気にしよう!」という熱い想いで活躍している人たちを訪ねてみました。



# まちなかで活躍する熱い人たち

インストロートの周辺には昔ながらの佇まいで静かで落ち着いた空間が広がっています。  
そんなまちなかに「まちを元気にしよう!」という熱い想いで活躍している人々を訪ねてみました。



よこそひめじ! えとこあるよ!

## 1 書肆風羅堂



● 姫路駅から北に歩いて、**おみぞ筋商店街**の  
中程にある古書店。古本屋は、雑然・暗い・風采  
の上がらない店主が通り相場ですが、この店は明  
るく、店主はおしゃれ、店員は若い女性と、およ  
そ古本屋に似つかわしくないお店。

● 偶然、姫路城の「天空の白鷺」を見た帰りだ  
という観光客に居合わせたので聞いてみると**この  
店の雰囲気に着かれて入ったのだ**そう。奥にはお  
酒もいただける喫茶コーナーもあり、古書店でデー  
トというのも合点がいくような気がする。

● **「本と珈琲と人」**これが、この店を立ち上げた想いと店主の大西さん  
はいう。東京や大阪に行くと、いろんな人の**交流の場**となっている「ブックカフェ」  
といわれる古書店があり、姫路にもこんな場所があればいいのにと感じていた  
そう。そんなところへたまに友人から話があり、**姫路にないのなら自分で  
造ろうと心を決め早期退職、昨年5月開店**にこぎつけたという。

● 書棚を動かし月に一度**音楽ライブ**も開く。古書店でライブ?「**おみぞ筋は  
おもしろい**」がまた一つふえた。城下町姫路には古書店がよく似合う。姫路  
に来たら立ち寄って欲しい古書店である。

## 2 アジア料理BAOBAB



● **おみぞ筋の北エリア**には歴史を感じ  
るまちなみのなかに洒落たお店が増え  
てきている。アジア料理「BAOBAB」も  
その一つだが歴史は古い。オーナーの  
森本さんに話をうかがった。

● 大阪で働いていた頃、**ブレイク前の  
堀江のまち**が好きで「自分もこんなまちでお店ができれば」と思っていたらしい。  
そんな頃、地元姫路で市民会館前の商店街に立寄った時、**静かで古い建物  
があるところが気に入って思い切って小さなカレーショップ**を出店（1993年）。

● その後、退職してショップ経営に専念、1996年には二階町に移転してインド  
料理店を、そして2000年に現在の場所に移り12年目を迎える。「Uターン現  
象で**若者層が姫路へ戻ってくる流れ**を感じていたので、若者向けの店も必要  
と思い出店した」とのこと。お店を経営する中で**若い人のつながりを生み出す  
ことも意識**されていて、それがきっかけで出店する若者も現れているらしい。

● 「**姫路は駅からお城までの間にいろんな世代のまちがあるところがいい**です  
ね。ただこれからどうなるかが読めない。一日中駅周辺で過ごす人も増える  
かもしれないけど、それでは窮屈と感じる人はまちへ出て行くだろう。そんな  
時に**異なる魅力のまちが必要だ**と思っています」姫路への熱い想いを感した。

## 3 Cafe C'arma



● **おみぞ筋商店街北側**に位置する**落ち着いた  
空間のカフェ**。奥まった入口が「ゆったりした  
時間」をすでに約束してくれている。

● 9年前にオープンした当初から**ぬくもりのあ  
る顔の見えたお付き合い**を大切にしてきたと  
オーナーの熊田さん。インターネットが普及し、  
何でも簡単に手に入る時代だからこそ、物は  
もちろんのこと**人とのコミュニケーション**も大切  
にしたいと語る。1階だけではなく2階に上る  
ると商店街とは**異空間**の別の景色が広がる。

● 熊田さんはこれからの姫路には**観光客の新しい風**が必要で、多くの方々  
にきていただき滞在していただく仕掛けが必要だと語る。

● 深夜0時まで**カフェとしてもバーとしても**使え、お酒が苦手な女性もち  
ろん、ふらりと立ち寄ってお酒を楽しむにもちょうどいい。姫路の皆さんに  
愛されて続けてきたという熊田さん。**姫路を愛する気持ちは**人一倍だ。

## 4 YUKA



● 姫路市市民会館を南へ、**城裏通り商店街**の  
一番南にある**インテリア雑貨**の店が YUKA だ。  
オーナーは30代。神戸のインテリアデザイン事  
務所での経験を活かし、生まれ故郷の姫路で  
2010年6月に店をオープンした。

● 自らセレクトしたものはもちろん、お客様の  
好みやニーズに合わせて**住まいのライフスタイル**  
を提案。「**大人のインテリア雑貨**」がコンセプト。

● 店内にはデンマーク王室で使われている **Kay Bojesen** のカトラリーか  
ら、日本古来の**南部鉄瓶**までシンプルながらも質感やデザインにこだわ  
った食器やキッチン道具がリーズナブルな値段で並び、**香りやアロマ**など空  
間そのものの演出にもこだわりを見せる。

● 「**年齢を重ねても末永く使ってもらえるものを提案しています**。将来は家  
具なども取り扱いたいですね。ここで買うために姫路に来ましたというお  
客様を増やしたいですね」とこやかに力強く語った。

## 5 ひめじ 588 ゲストハウス



● 2011年11月に**本町商店街**に、姫路5  
88ゲストハウスがオープンした。まず  
**588 (ガ/ハ)** が気になる。オーナー  
の松岡さんに話を聞くと「**みんなが集  
まって笑って過ごせる場所**にしたいとい  
う想いからガ/ハ、それを外国人にも  
覚えてもらえるように数字で表現して588= ガ/ハ」ということらしい。

● 姫路出身の松岡さんは旅行好きで学生時代に海外で多くの人と出会っ  
た。現地の人だけでなく同じ旅行者である世界中の人と知り合い、それ  
が自分の糧となったと実感しており**ゲストハウス経営が夢**だったという。

● 経営的にはそれまで働いていた大阪のほうが好条件と思われたが**心は  
姫路**、1年半探し、本町商店街にある元食堂だった店舗に決めた。本町  
商店街は**アットホームな雰囲気**で気に入っているとのこと。

● まちなみにあっている外観はそのまま残して、内部を改装。ドミトリーと  
個室1室のミニ宿泊施設だが**手作り感のあるくつろげる空間**になった。プロ  
グや Facebook などからの利用客が多いことも手作り感の表れだろう。  
松岡さんが目指す「**人と人のつながりを生み出す拠点**」になる日も近い。



姫路がもっとたのしくなるように、とステキなお店を開いている人がたくさん!

気に入ったお店に置いてあるフライヤーやショップカードをもらって巡るのもおすすめ